

みらい



橙(だいだい):ミカン科・常緑小高木
初夏に香りのある白い花が咲く。実は冬に熟すと一度黄色になるが落下せず、翌夏に再び緑になる。別名「回青橙」。次の世代の実と同時期に木に成ることから家が大きく栄える象徴とされた。正月の鏡餅に橙(代々)と、葉の裏が白く左右が対になったシダ「裏白(うらしろ)」を敷くのは、後ろ暗いところがなく家運隆盛、夫婦円満の願いが込められている。

No.8

主な内容

平成30年

9月議会・10月議会
12月議会 要旨報告

討議資料

発行責任者/渡部 英治 ■ 編集責任者/三浦 茂人

県民の幸せと県勢発展のため 本年も全力で頑張ります!



秋田県議会建設委員会 副委員長
会派みらい 総務会長

佐藤 正一郎

2019年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年は統一地方選挙の年に当たり、4月には県民の皆様から審判をいただくこととなりますが、さらなる「秋田の再生」をめざして、県政の重要課題である人口減少対策や地域社会の振興、県民の安全・安心と暮らしを守る課題に真正面から取り組んでいく覚悟です。

引き続き、皆様からご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

佐藤正一郎 県議会報告会

2019

新春の集いのご案内

とき 平成31年 1月20日(日) 午後2時～4時30分

ところ 羽後町活性化センター 大ホール
(羽後町西馬音内中野/町役場隣り)

会費 2,000円 (当日、受付で徴収します)

参加申込み どなたでも参加できますが準備の都合上、事務局(☎67-2559 または 090-7060-4600)へご連絡ください。



9月議会

平成30年・第2回定例会
9月10日～10月5日

今回の補正予算は、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、ブロック塀に対する安全対策、公共事業等について計上しました。

9月補正予算の主な内容

新 社会的要因等による少子化調査・分析事業 …………… 772万円

それぞれの地域特性に応じた、より効果的な少子化対策を推進するため、少子化に影響を与える様々な要因を詳細に調査・分析する。

- ①少子化要因調査・分析事業 (526万円)
- ②少子化・子育て支援に関する県民意識調査事業 (246万円)

● 県・市連携文化施設整備事業 [継続費 平成30～33年度] … 211億2,840万円

現在進めている実施設計を踏まえ、本体工事、駐車場整備、外構工事等を行う。

● ブロック塀安全対策事業 …… 1億 907万円

県有施設における現行の建築基準に適合しないブロック塀の撤去等を行う。

平成30年度 一般会計 補正予算 **13億 9,901万円**
補正後の規模 **5,984億 741 万円**

● 航空機システム電動化研究推進事業 …… 1,000万円

航空機システムの電動化に向け、航空機用モーターの製作と評価を県内で一貫して実施するため、産学官による共同研究活動を支援する。

- ### 新 AKITA スノーリゾート推進事業 …… 4,472万円
- ①台湾冬季誘客促進事業 (1,915万円)
 - ②韓国冬季誘客促進事業 (1,800万円)
 - ③AKITA スノーリゾート魅力発信事業 (757万円)

新 中国からの北東北周遊商品造成促進事業 … 991万円

中国からの誘客を促進するため、青森県、岩手県との連携により、北東北周遊商品の広告支援等を行う。

9月議会 一般質問



東海林 洋 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ イーグリス・アショアについて
- ◆ 防災対策について
- ◆ 障害者雇用について
- ◆ 林業の振興について
- ◆ 産業振興と人材育成について

せいげん

吉方清彦 [能代市山本郡]

- ◆ 在宅医療の推進について
- ◆ 消防団員の確保について
- ◆ 木材産業の振興について
- ◆ 洋上風力発電について



9月議会 総括審査

三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ イーグリス・アショアについて
- ◆ 新スタジアム整備構想について
- ◆ 観光振興について



佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ イーグリス・アショアの配備について
- ◆ 県・市連携文化施設の駐車場について
- ◆ 交通安全対策について

10月議会

平成30年・第2回定例会
10月16日～11月2日

今回の補正予算は、昨年発生した大雨被害に係る災害復旧関連事業の本格化に伴い、技術者不足等による入札不調が例年以上に発生していることを踏まえ、公共工事を適切な工期で早期に発注するために必要な繰越明許費について計上しました。

10月補正予算の主な内容 (11月2日追加提案)

- 国庫補助事業 (河川改修事業、災害関連事業等) …………… 107億9,322万円
- 県単独事業 (県単河川改良事業、県単道路補修事業等) …………… 6億5,200万円

繰越明許費

114億 4,522万円

12月議会

平成30年・第2回定例会
11月27日～12月21日

今回の補正予算は、昨年7月及び本年5月の大雨による災害復旧対策事業、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業の発注を前倒しするための債務負担行為等について計上しました。

12月補正予算の主な内容

● **災害復旧対策事業** …… **6億5,000万円**

被害を受けた土木施設の復旧とあわせ、今後の災害防止のための改良復旧を行う。

● **6次産業化施設整備事業** …… **5,000万円**

農山漁村の所得や雇用の増大、地域活力の向上を図るため、農林漁業者等の6次産業化に向けた取組を支援する。

● **医療提供体制整備費補助事業** …… **6,107万円**

がん診療連携拠点病院等が行う設備整備に対し助成する。

● **教育施設除去事業** …… **1億4,956万円**

旧大館工業高校の教室棟・体育館の解体等を行う。

平成30年度 一般会計 補正予算 **44億6,874万円**
補正後の規模 **6,028億7,615万円**

● **地方独立行政法人秋田県立病院機構支援事業** …… **18億9,123万円**

① **旧成人病医療センター解体事業** (7億6,439万円)

秋田県立病院機構が行う旧成人病医療センター解体工事等に対し助成する。

② **脳血管研究センター医療機器整備事業** (11億2,684万円)

脳血管研究センターの新棟建設に伴い同機構が実施する医療機器の整備に対し助成する。

● **地域医療介護総合確保基金積立金** …… **23億2,522万円**

地域における医療・介護の充実を図るための事業に活用する基金の積み増しを行う。

12月議会 一般質問



渡部英治 [大仙市仙北郡]

- ◆ 知事の政治姿勢について
- ◆ 人口減少対策について
- ◆ 交通インフラの整備促進について
- ◆ 農業振興政策について

佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ イージス・アショアの配備について
- ◆ 東欧のイージス・アショアについて
- ◆ 陸上自衛隊新屋演習場について



12月議会 総括審査

三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ イージス・アショアについて
- ◆ 外旭川地区複合商業施設の構想について



吉方清彦 [能代市山本郡]

- ◆ 外国人労働者の在留資格と技能実習制度について
- ◆ 県内の高校生からの提言について

決算 特別委員会

一般会計および特別会計の決算について審査

副委員長として委員会運営に携わりました

副委員長 **佐藤 正一郎**



平成30年
10月16日～11月2日

総括審査

吉方清彦 [能代市山本郡]

- ◆ 本県の米政策について
- ◆ 在留外国人の子供への支援について



佐藤正一郎の 県議会レポート



12月議会では「地上配備型迎撃ミサイルシステム（イージス・アショア）」を秋田市にある陸上自衛隊新屋演習場へ配備することについて一般質問。すでに実践配備されているルーマニアと建設中のポーランドでの調査等をもとに、イージス・アショアの実態や周囲の環境、課題について知事と質疑をしました。

◆ 一般質問（抜粋）

地域の理解と協力について

問 地元の新屋勝平地区振興会では秋田市議会に計画撤回を求める請願書を提出している。「地域の理解と協力」は一向に進んでおらず、むしろ心配する声が大きくなっている状況について、知事はどのように判断しているのか。

知事 防衛省は地域住民の懸念に応えるためにも、地質や測量、電波環境等の調査が必要だとしている。県では、調査終了後に防衛省から示される調査結果や配備計画案、安全対策等について、それが住宅地に近接しているリスクを回避できるものなのかどうか、秋田市と連携しつつ慎重に分析し、見極めていく。

東欧のイージス・アショア

問 世界で唯一配備されているルーマニアと工事中のポーランドでの調査を通じ、イージス・アショアは極めて重要な軍事基地であり、その特殊性から地域の広い範囲に様々な制約を必要とし、地上では電磁波の影響についての科学的な根拠が確立されていないと感じた。こうした装備を、日本は短期間に2箇所の配備を決めて準備を進めていることについて、もう少し慎重に取り組むべきと思わないか。

知事 イージス・アショアが周辺に及ぼす影響や各種規制は、それぞれの国における配備環境や立地条件、法制度等が異なるため一概には言えないが、防衛省では新屋演習場への配備は可能と考えて、適地調査を実施しているものと思われる。イージス・アショアの運用が可能となるまでには相応の時間を要するため、県では国際情勢を慎重に見極めながら、国に対して意見を述べ、適切な対応をしていく。

「元気な秋田」を創造しよう!!
<http://www.sho-ichiro.net/>

さとう正一郎ホームページ
さとう正一郎 検索

陸上自衛隊新屋演習場について

問 知事は、2019年度予算編成に向けた国への要望活動において、「イージス・アショアに関する対応について」求めているが、政府の反応はどうだったのか。また、防衛省は調査を始めるに当たり、年度内の可否判断は困難との認識を示しているが、判断が公表されるまで黙って見守っていくつもりなのか。

知事 国に対しては調査結果を含め、詳細な情報と具体的で合理的な説明を行うこと等を要望したところ、菅義偉官房長官からは「説明は当然必要なことであり、防衛省と連絡を取り、地元理解を深めるために、いろいろな面で具体的に答えたい」との回答をいただいている。現段階では多くの地域住民の方々が懸念や不安を抱いているものと思われるが、今後の防衛省による住民への説明内容を慎重に見極めながら、秋田市の意向を十分に踏まえつつ適切に対応していく。



【写真】ルーマニア・デヴェセル基地にあるアメリカ軍の「イージス・アショア」は、市街地から3 km以上離れた約1,000haの広大な敷地の中に装備。中央に見えるのはレーダーと指令所となる「デッキハウス」。ルーマニア軍が厳重な警戒態勢をとっていました。